

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	姫路日ノ本短期大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ヒメジヒノモトタンキダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	幼児教育科ライフデザインコース
	担当教職員名・役職	准教授 岡田教三、情報センター長
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	5
	受入企業等数	3
	受入企業等名	アイデックスデザイン株式会社( <a href="http://idex-design.com/">http://idex-design.com/</a> ) 花苑あおやま店
	インターンシップの分類	7.中小企業でのインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験 1-2.以外の就業体験の内容(記述欄) 1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1.企業等における業務への従事 広告デザイン会社での画像データ作成・修正作業。生花店での販売等の日常業務
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容 2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	情報処理士資格の選択必修科目として実施
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている。2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている。3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている。4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている。3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	事前4回の授業を実施。主に企業研究やマナー教育等にあてている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	事後1回の授業を実施。報告書、礼状の作成、及び反省会等にあてている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ先企業にキャリア担当と科目担当教員が、それぞれ1～2回訪問し、企業担当者及び学生と面談を行う。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	報告書の提出
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している。2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している。4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	5日間(うちインターンシップ実施期間3日)
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	インターンシップ先の企業様により、期間が異なるため、一律ではない。授業としては実施期間が最低3日で時間数は確保できる。デザイン会社は10日、生花店は3日の契約を事前に行った。	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業からも学生の評価、報告を得ている。	

	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="http://www.himeji-hc.ac.jp/faculty/silabus.pdf">http://www.himeji-hc.ac.jp/faculty/silabus.pdf</a>
問 い 合 わ せ 先	大学等名	姫路日ノ本短期大学
	担当部署名	教務学生課
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	079-232-4140
	メールアドレス	kyoumu@himeji-hc.ac.jp